

広告特集

企画・制作 朝日新聞社広告局

混戦セ界で好調をキープ



優勝への道はクリアだ！

和田阪神 悲願なるか

いよいよ今シーズンも残り1カ月を切ったプロ野球のペナントレース。大混戦のセリーグで、阪神タイガースが10年ぶりのリーグ制覇を目指し奮闘している。そんな阪神の強い味方、現役時代に2度の優勝経験を持つOBの松山進次郎さんが、リーグ制覇するために必要な戦い方を伝授。さらに、野球解説者として、見られる男性の身だしなみについて語ってくれた。

ひやま・しんじろう 1969年、京都府生まれ。元プロ野球選手(外野手)。現役時代は阪神タイガースに22年間所属。背番号は24。2013年に現役を引退し、14年からは野球解説者。スポーツ「メンター」として活動中。

残り1カ月を切りましたが、セ・リーグは大混戦です。どのチームも決定力に欠けているため、抜けていません。また、チームが一つになりきれていない。少し若さが出ていたり、各チームが悩みを抱えています。どこも勢いに乗りきれないのが、今年最後の戦いだと思います。今シーズンの阪神を振り返っていかがですか。ピッチャーが頑張っていると思います。特に春先から打撃の調子が上がらず、投打の信頼関係が薄れているなかでよく踏ん張りまわってきた。投打がかみ合ってきた。マートン選手が調子がさらによくなれば、チームは勢いに乗れると思います。

優勝への思いを浸透させたい。阪神が優勝するために何が必要でしょうか。まず、ケガ人を出さないこと。そして、どれだけチーム一丸となれるかです。優勝するんだ、という思いを選手だけでなく、球団や首脳陣も含めてチーム全体に浸透させることが大切だと思います。優勝するときは結束力が生まれる、ミスが出ても自然とみんなでカバーしあえるものです。レギュラーも控え選手も勝つことに執着して、貪欲にプレイングする。ベンチも熱気に包まれて、お祭り騒ぎのようになる。優勝するには、そうしたチームの一体感が不可欠です。

2003年に阪神が優勝したときは、松山さんが選手会長でした。あの年は下柳さんや矢野さん、金本さんなど個性的な選手が多かった。だからバラバラにならずに選手が野球に打ち込める環境をつくることだけ考えていました。まとめるのは大変でしたけど、チームに一体感があって楽しかったですよ。



元プロ野球選手(阪神タイガース) 野球解説者

松山進次郎さん



阪神甲子園球場で行われる阪神対巨人の伝統の一戦。9月9日の試合は、「男のシャンプー CLEAR ナイト『阪神タイガース』公式戦」として開催された。

男のシャンプーCLEARナイト 『阪神タイガース』公式戦 9月9日開催!

当日は球場内の各所にタイガースとユニリーバの男性用ヘアケア商品「クリアフォーメン」とのコラボレーションポスターが貼られ、先着2万人に「クリアフォーメン」を配布。横断幕も掲げられ、オーロラビジョンやライナービジョンでCMが放映された。試合前には両チームの選手たちにも「クリアフォーメン」を贈呈。さらに、同社取締役 副社長兼営業本部部長の高橋康巳氏による始球式も行われ、スタンドに詰めかけたファンを沸かせた。



Advertisement for CLEAR Men hair care products. Features the text: 阪神ファンに、虎イして ほしいシャンプーがある。 CLEAR 強さは美しい. Includes an image of a CLEAR Men shampoo bottle and the Unilever logo.